北中未来新聞

SDGs みんなで創る未来 できることから始めよう！

No.6
2023.5.10

【今回のテーマ】
『私が見つけたSDGｓ』の宿題の中で、たくさんの発見や取り組み、自分にできることのアイデアがありました。未来新聞にていくつか紹介します。自分事として捉え、何をすればＳＤＧｓにつながるのかを考えましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

関連するSDGｓの目標 12 13 14 15

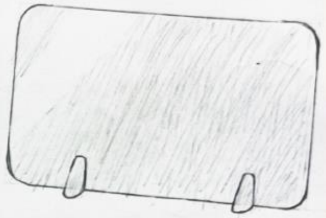
タイトル 今だからこその問題

3年 3組 [redacted]

2023年 5月8日 月曜日 ようやくコロナウイルス(COVID－19)が第5類になりました。そうすると、店内にあった『アクリル板』を外していくお店も出てくるでしょう。では、その置いていた『アクリル板』はどうするのでしょうか。たいていの人は「置いていても仕方ないから、捨ててしまおう」となるでしょう。

まってください！！

その『アクリル板』"再利用"できるかもしれません。
島根県松江市にある書道用品専門店『いずも和紙』さんでは、使わなくなった『アクリル板』を回収し、作品を収める額の表面のカバーとして"再利用"しています。本来は表面のカバーはガラスですが、ガラスは割れてしまうと指を切ってしまったりして危ないし、重いので最近はアクリルの物しか受け付けないケースが主流になっているそうです。『アクリル板』は石油でできています。なので、捨てるよりも"再利用"する方が環境に良いです。しかも、今は石油のコストも上がってきているので、一石二鳥です。
私はこのような活動がもっと増えて欲しいと思います。ぜひ北中学校にもこの活動に参加して欲しいです。


アクリル板
(パーテーション)

使わなくなった『アクリル板』

捨てないで！！

※アップサイクル

役目を終えた物や不用品に手を加え、新しい製品にアップグレードすること

SDGｓの取り組みの一環で、リユースやリサイクルと並んで持続可能なモノづくりを実現するアプローチとして、実践している企業がたくさんあるようですね。
上に書いてくれているような額の表面のカバーの他、キーホルダーやアクセサリー、また駅の案内表示板などに再生されています。不要になったものを「捨てる」のではなく、もう一度新しい商品にして「利用する」。SDGs の素晴らしい取り組みですね。

関連するSDGｓの目標 7 9 13

タイトル 再生可能エネルギーの利用について

３年 ２ 組 [redacted]

Appleは2022年4月14日、サプライヤーのクリーン電力使用量が昨年1年間で2倍以上となり、今後数年間にわたる取り組み全体で達成する見込みのおよそ16ギガワットのうち、現時点で10ギガワット以上を達成していることを発表しました。2021年、これらの再生可能プロジェクトにより、1390万トンの二酸化炭素排出が削減されました。現在実施されているプロジェクトにより、年間300万台の自動車が道路から消えてなくなることに相当する温室効果ガス削減をサポートしたことになります。またAppleはクリーンエネルギーへの移行を加速し支援するため、世界中のAppleのサプライチェーンと継続的に連携しています。現時点でAppleの主要な製造パートナーのうち、213社が25カ国でApple製品の製造をすべて再生可能電力でまかなうことを約束しています。Appleのバイスプレジデント、リサ・ジャクソンは「クリーンエネルギーは事業にとって良いことであり、地球にとっても良いことです。私たちは、私たち自身の再生可能エネルギーへの移行から学んだことを共有し、よりグリーンな未来への道筋を示していきます。」と述べています。
様々な企業がSDGs達成のために取り組む中、Appleという世界的に有名な大企業が取り組んでいることはすごく良いことだと私は思いました。大企業が動けば、その他の企業が動きだし、やがてその活動は国の規模になり、そして全世界へとつながり、地球全体が一丸となって取り組むことができると私は思いました。

Apple社

世界各地で再生可能エネルギーの利用を大幅に加速できるよう支援

7
エネルギーをみんなに そしてクリーンに

13
気候変動に具体的な対策を

Apple の SDGs な取り組みで変わっていく世界

世界中で愛され、必要不可欠な存在になっている企業である Apple だからこそできる取り組みや活動が行われていますね。
紹介してくれた取り組みは、Apple の SDGs 施策のほんの一部にしか過ぎません。
Apple が取り組んでいる施策は、製品に関わる SDGs の取り組みだけでなく、世界各国で解決が必要な問題にも着目し、取り組んでいる Apple。今後の活動にも期待です。